

1月25日(月曜日)

ドル/円

米金融新規制案への懸念続く

22日(金)の主な推移

ダウ平均株価

10172.98ドル
(-216.90ドル)

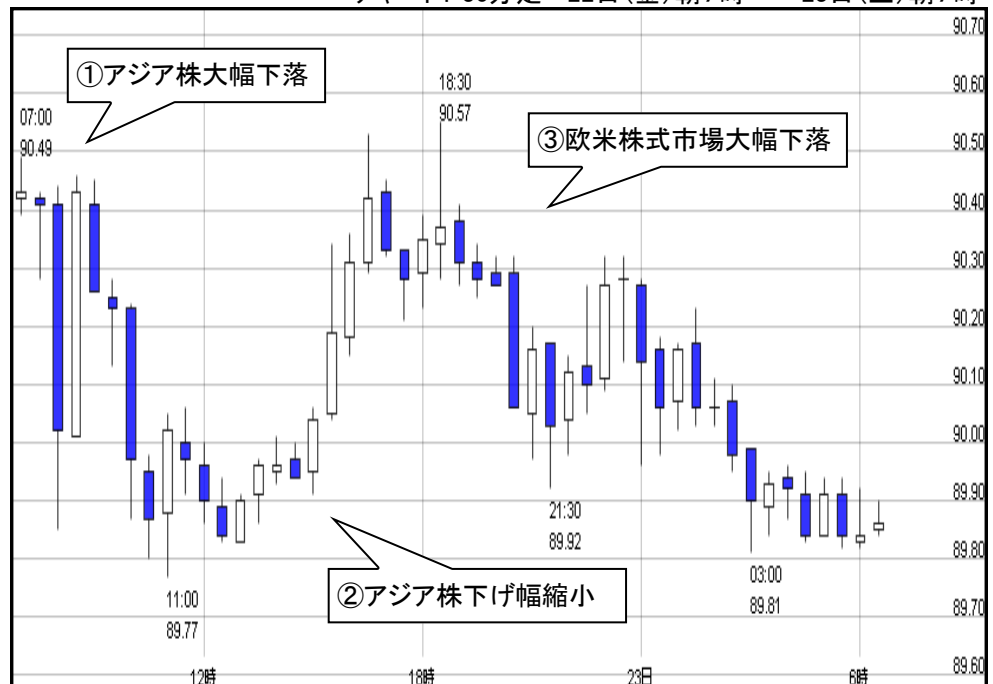
米長期金利
(10年債利回り)

3.5994%
(+0.0001%)

NY原油先物

74.54ドル
(-1.54ドル)

チャート: 30分足 22日(金)朝7時 ~ 23日(土)朝7時



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、()は前日比
出所:外為どっとコム

①

21日のオバマ米大統領による金融新規制案発表を受け、22日のアジア株式市場が軒並み大幅に下落。日経平均は一時前日比350円近く下落した。外国為替市場でもリスクを取ることに消極的な動きが強まり、円が主要通貨に対して軒並み上昇。ドル/円は正午前にほぼ1カ月ぶり安値89.77円を記録した。

②

昼過ぎの取引では米金融新規制案への懸念が一旦和らぎ、アジア株式市場が軒並み下げ幅を縮小。外国為替市場では円が主要通貨に対して軒並み下落(ドル/円は上昇)した。

③

米金融新規制案への懸念から欧米の大手金融株が軒並み大幅に下落。バーナンキFRB議長の再任の承認採決への不透明感やグーグルの決算が市場予想を下回ったことも株価を押し下げ、米ダウ平均株価は前日に続き200ドル以上下落した。外国為替市場ではリスクを取ることに消極的な動きが強まり、ドル/円は88.81円まで下落したが、ほぼ1カ月ぶり安値水準手前ではやや底堅く推移した。

巻末の特記事項を必ずお読みください。

上昇要因(ドル高・円安)

- ・米経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・日本の政局の混迷
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加資金供給
- ・日本政府による市場介入への警戒感
- ・日本の財政赤字への懸念

下落要因(ドル安・円高)

- ・米金融新規制案への懸念
- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米経済の回復の鈍化
- ・外貨準備通貨としてのドル需要の減退
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり
- ・金融市場全体のドル売りムードの高まり

本日の見通し

本日の予想レンジ: 88.85-90.75円

本日のドル/円は下値を試す動きが続きそうだ。21日の米金融新規制案の発表から一夜明けた22日も米国株式市場が大幅に下落したことが示すように、同案への懸念が強いことからリスクを積極的に取りづらい状況が続きやすく、主要国株価には下落圧力が掛り、外国為替相場においては円に上昇圧力がかけやすい状況だ。ただ、22日午後のアジア市場と同様、一旦底固さが示されれば、株価、ドル/円、クロス円とも反発する可能性もあるだろう。

テクニカル面においても、5日移動平均線が上値を抑え、中期的なトレンドを示す60日移動平均線を終値ベースで下回っており、当面下落基調が続く可能性が示されている。目先の下値の目途としては、22日に記録したほぼ1カ月ぶり安値89.77円、心理的節目の89.50円、89.00円が意識される。市場の不安が強まり、主要国株価が急落する展開となれば、ドル/円が89円台を割り込む可能性もあるだろう。

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
1/25(月)	24:00	○	(米)12月中古住宅販売件数[年率換算]	654万件	590万件
	24:00	○	(米)12月中古住宅販売件数[前月比]	+7.4%	-9.8%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com